

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称 : アイアンペイント
 色名 : 009アイアンブラック・010アイアンブラウン・015ブロンズグリーン・016グリーンパティナ
 会社名 : ターナー色彩株式会社
 住所 : 大阪市淀川区三津屋北2-15-7
 担当部署 : 研究開発室
 電話番号 : 06-6308-1216
 緊急連絡先 : 06-6308-1216
 FAX番号 : 06-6305-3018
 メールアドレス : kenkyuu@turner.co.jp
 作成、改訂 : 2019年7月16日
 整理番号 : 1364-02

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類対象外、分類できない、区分外となるものは危険有害性に記載していません。

生殖毒性 : 区分1

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

注意書き

《安全対策》 : 使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 《応急措置》 : ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。
 《保管(貯蔵)》 : 施錠して保管すること。
 《廃棄》 : 内容物／容器を法令に従って適切に廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

一般名 : 合成樹脂塗料

成分及び含有量

	cas番号	労働安全衛生法 名称等を通知すべき 危険物及び有害物 政令番号	含有量(%)			
			アイアン ブラック	アイアン ブラウン	ブロンズ グリーン	グリーン パティナ
ピグメントグリーン7	1328-53-6	379	0	0	0.1～0.5	
ピグメントブルー15:3	147-14-8	379	0	0	0	0～0.1
酸化鉄	1309-37-1	192	0	1～2	0	0
水酸化鉄	20344-49-4	192	0	0～1	0.1～0.5	0
ピグメントイエロー42	51274-00-1	192	0	0～1	0.5～1	0
カーボンブラック	1333-86-4	130	1～1.5	0.1～0.5	0.1～0.5	0～0.1
酸化チタン	13463-67-7	191	0	0.1～0.2	2～3	4～5

PRTR法 : 該当なし

毒劇法 : 該当なし

4. 応急処置

吸入した場合	: 蒸気・ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	: 付着物を布にて素早く拭き取る。 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
目に入った場合	: 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 まぶたの裏まで完全に洗うこと。 出来るだけ速く医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	: 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。嘔吐物は飲み込ませないこと。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

消火を行う者の保護	: 適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。
消火方法	: 安全に対処できるのであれば可燃性のものを周囲から素早く取り除く。 指定の消火剤を使用すること。 高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。 消火活動は風上から行う。 周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。
使用可能消火剤	: 全ての消火剤
使ってはならない消火剤	: なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	: 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。 屋内では換気をしっかり行う。 屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
環境に対する注意事項 封じ込めおよび浄化の方法、 機材	: 河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。 スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土等で流出を防ぐ。 水での洗浄なども、河川等への流出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱上の注意	: 換気の良い場所で取り扱う。容器はその都度密閉する。 適切な保護具を着けて作業すること。 取扱後は手、顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
保管上の注意	: 日光の直射を避ける。通風のよいところに保管する。 盗難防止のために施錠保管する。子供の手の届かないところに保管する。

8. 暴露防止措置、及び保護措置

組成物質の有害性及び暴露濃度基準

成分名	管理濃度	ACGIH(TLV)(mg/m3)	出展
酸化鉄	—	5 (Fe, Fumeとして)	ACGIH (2005)
カーボンブラック	—	3.5	
酸化チタン	—	10, TWA	

設備対策	: 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が直接暴露されない設備とするか局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備にすること。
保護具	呼吸系の保護: 作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。 手の保護: 有機溶剤、または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。 目の保護: 取り扱いには保護メガネを着用すること。 皮膚の保護: 取り扱い場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。 また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。
その他の保護具	: -

9. 物理的及び化学的性質

状態	: 液体
色	: 各色
臭い	: 僅かなアクリル臭
pH	: データなし
沸点	: 水100℃
引火点	: なし
燃焼または爆発範囲の 上限下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重	: 1.0～1.2
溶解度	: 水に可溶
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
自然発火温度	: なし
分解温度	: データなし

10.安定性及び反応性

安定性	: 通常の使用では安定
避けるべき条件	: なし
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: CO、NOx、ハロゲンガスなど有害ガスを発生する恐れがある。
その他危険情報	: 特になし

11.有害性情報

■酸化鉄

皮膚腐食性／刺激性	: 区分2
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	: 区分1
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 区分3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 区分1(呼吸器系)

■カーボンブラック

発がん性	: 区分2
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 区分1(肺:吸入)

■酸化チタン

眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	: 区分2B
発がん性	: 区分2

成分名	急性毒性			発ガン性
	経口(mg/kg)	経皮(mg/kg)	吸入:蒸気(mg/L)	
カーボンブラック	LD50>8000(ラット)	-	-	2
酸化チタン	LD50>2000(ラット)	LD50>10000 (ハムスター)	-	2

※紛体としての情報を記載している。

※有害性情報は化学物質固有のデータであり、含有濃度によって変化するものではありません。

12.環境影響情報

残留性・分解性／生物蓄積性／土壌中の移動度については、混合物としてのデータがない。

13.廃棄上の注意

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
 廃塗料、廃溶剤、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。
 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
 排水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律

及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。
 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
 空容器・包装等はリサイクルを推奨する。

14.輸送上の注意

共通	: 取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと 容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み 荷崩れ防止を確実にすること。
国内規制	
陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に 定められる運送方法に従うこと。
海上輸送	: 船舶安全法、海洋汚染防止法に定めるところに従うこと。
航空輸送	: 航空法の定めるところに従うこと。

15.主な適用法令

労働安全衛生法	
名称等を通知すべき危険物	: 酸化鉄/カーボンブラック/酸化チタン/銅及びその化合物 及び有害物
特定化学物質障害予防規則	: 該当せず
有機溶剤中毒予防規則	: 該当せず
鉛中毒予防規則	: 該当せず
化学物質排出把握管理 促進法(PRTR法)	: 該当せず
毒物及び劇物取締法	: 該当せず
消防法	: 該当せず
海洋汚染防止法	: 該当せず
悪臭防止法	: 該当せず

16.その他

主な引用文献 日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」
 溶剤ポケットブック
 危険防災救急便覧
 国際化学物質安全カード(ICSC)
 原料MSDS
 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)

[注意]

危険・有害性の評価は現時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成していますが、
 すべての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加、修正を行い改訂いたします。
 また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。
 すべての化学製品には未知の危険性・有害性がありうる為、取扱いには細心の注意が必要です。
 ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。